



富山県

No.54 2010年1月

中央植物園だより



「早春」 撮影/浅野陽子さん（第12回私の植物写真展応募作品）

シナマンサク *Hamamelis mollis* Oliv.

中国原産のマンサク科植物で、マンサク属の中では花が最も大きく観賞価値が高いため、良く利用されています。日本産のマンサクより開花が早く、富山県中央植物園に植栽されているものは例年2月に咲き始めます。

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

1月～3月のサンライトホール展示

「干支に因んだ植物」

1月27日(水)まで開催



アツバチトセラン

葉の模様をトラの縞に見立てて名前がつけられたトラフアナナスや中国名が「虎尾蘭」のアツバチトセランなどの来年の干支、「寅」にちなんだ植物をはじめ十二支に因んだ植物を実物や標本、写真などで紹介します。



トラフアナナス

「平成21年度研究発表展」1月29日(金)～2月16日(火)

中央植物園の職員が日ごろ行っている植物やきのこに関する調査・研究のポスターを展示して紹介します。

富山県で新たに確認された植物やきのこをはじめ中国雲南省昆明植物研究所と行っているトウツバキに関する共同研究、富山県の植生などの紹介を予定しています。



関連行事

◆21年度研究発表会

日時：1月31日(日)

13:30～16:30

場所：中央植物園研修室

申し込み不要

聴講無料



「第20回花と緑のフェスティバル」

2月19日(金)～2月21日(日)9:00～17:00(21日は16:30まで)



「ありがとう 冬を咲かせて20年」をキャッチフレーズに、県民生活の中に花と緑を活用した彩り豊かで安らぎのある生活スタイルを提案します。コンテナガーデン、早春の椿、話題の「青いバラ」等の展示やフラワーアレンジメント、アロマセラピーなどの各種講座が行われます。



「第38回富山県蘭まつり大会」

3月5日(金)～7日(日)



昨年の富山県知事賞



昨年の富山県蘭協会会長賞

富山県蘭協会と共同で開催します。例年、洋ラン、東洋ラン、野性ランなど350点を超えるランが出品される富山県最大のラン展です。洋ランの「華麗」な世界、東洋ランの「和」の世界をお楽しみください。



昨年の
展示作品

関連行事
★栽培講習会「ランの植え替えと管理」
3月6日(土)
①10:30-12:00,②13:30-15:00
3月7日(日)
①10:30-12:00,②13:30-15:00
場所/中央植物園研修室
講師/富山県蘭協会会員
申し込み不要、聴講無料

「植物画で見るサクラ展—永遠の桜の園—」

3月12日(金)より開催

「花の命は短くて」という言葉があるように、サクラの見ごろも長くて10日間ほどです。しかし、精密に描かれた植物画はその最盛期の姿を半永久的に私たちに見せてくれます。中央植物園が収蔵する故二口善雄画伯と中央植物園友の会植物画部会会員の方々によって描かれたサクラの植物画を展示します。

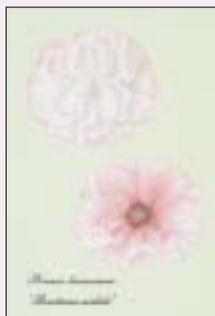
中央植物園では4年前から毎年「今年のサクラ」を決めて紹介していますが、友の会が作製して販売している「今年のサクラ絵はがき」の原画も展示します。4月1日からは展示の一部を入れ替えて、4月下旬まで開催する予定です。



今年のサクラ2006
「ベニタマニシキ」



平一敏さん (友の会植物画部会)



山崎信雄さん
(友の会植物画部会)



今年のサクラ2007
「ソメイヨシノ」

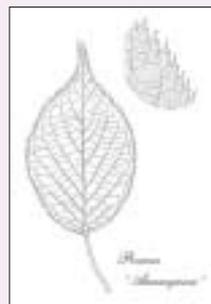
故森山由香利さん
(友の会植物画部会)



今年のサクラ2008
「アマノガワ」



七山節子さん
(友の会植物画部会)



山本清美さん
(友の会植物画部会)



今年のサクラ2009
「コシノヒガン」

下野末佐美さん
(友の会植物画部会)

2010年の今年のサクラは何になるでしょう？

二口善雄氏

明治33年金沢に生まれる。東京美術学校(現東京藝術大学)洋画科を卒業後、東京帝国大学理学部植物学教室に画家として勤務。文部省理科図集をはじめ多数の植物画を製作した。日本における芸術としての植物画を確立させた。

平成7年、氏の作品の約半数である1700点余りが富山県中央植物園に寄贈された。平成9年、96歳で逝去。

今回の企画展では、寄贈された作品の中からサクラを描いた作品を展示します。



二口善雄画伯が描いた
サトザクラ「関山」



二口善雄画伯が描いた
サトザクラ「関山」

植物園 トピックス

■「青いバラ」を県内で初めて展示しました。



サントリーがバイオテクノロジーの技術を用いて世界で初めて作出した、青い色素である「デルフィニジン」を持つバラの新品種「アブローズ」を県内で初めて展示しました。マスコミ各社が取材・報道され、たくさんの入園者に観賞していただくことができました。

■植物園クラブでパイア収穫祭

植物園クラブで一年間栽培したパイアを11月14日(土)に収穫しました。



収穫したパイアをジャガイモの代わりに使ったカレーやパイアサラダなどを作ってみんなで試食会を開きました。



パイアカレー



パイアサラダ

研究紹介◎『異なる光の波長がランの種子発芽と実生の成長に及ぼす影響』

主任研究員 神戸敏成

ラン科植物の非共生発芽法は1920年代初めに Knudsonにより報告され、その後様々な種で報告されています。地生ランの多くは光により種子発芽が阻害されますが、シランでは阻害されないことが知られています。本研究は中国原産のシラン属植物である *Bletilla ochracea* Schltr.の完熟種子を用いて、異なる波長帯光の照射が種子発芽およびその後の成長に及ぼす影響についての検討を行いました。異なる波長帯光を照射するために5種類のLED(白色、青色: 470 nm, 緑色: 525 nm, 黄橙色: 590 nm, 赤色: 625 nm)を用いました。

播種3週間後にはすべての試験区において60%を超える種子が発芽し、特に緑色(525 nm)および黄橙色(590 nm)の光条件下で74%を超える高い発芽率が得られました。

発芽後の成長は暗黒条件下で著しく阻害されました(図1)。特定の波長帯光の照射による顕著な発芽促進および発芽阻害は認められませんでした。仮根の形成には最も低い暗黒条件下の0.9%から最も高い黄橙色の71.7%まで顕著な差が認められました。また、3ヵ月後の葉の形態を比較すると青色および白色光では葉幅が広がり、緑色および黄橙色、赤色光では葉幅が狭まる傾向が認められました(図1)。パルプ幅も葉幅と同様に白色および青色で広くなることが明

らかになりました。

この結果から、発芽時には緑色または黄橙色の光を照射し、育苗時には白色または青色の光を照射することにより、より良質の種苗の生産を行うことが可能になるかもしれません。

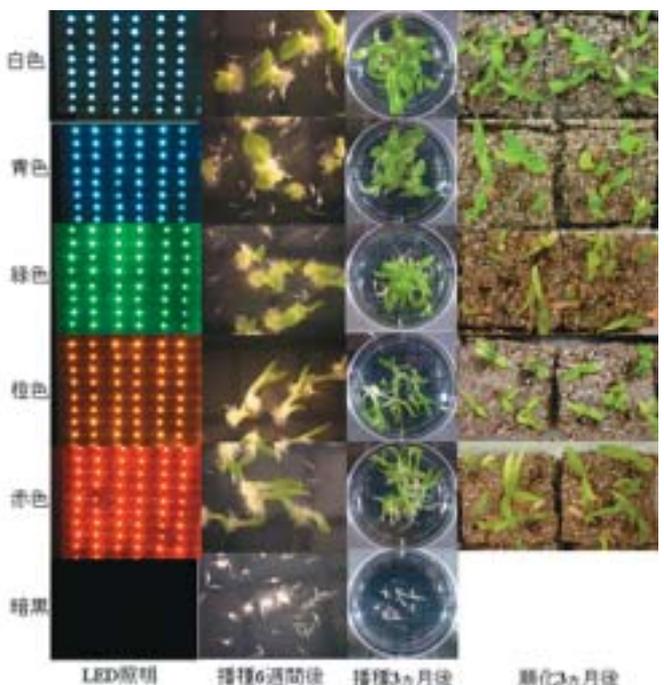


図1 異なる波長帯光のLEDとその照射が *Bletilla ochracea* の種子発芽およびその後の成長に及ぼす影響

催し物のご案内

■企画展示

サンライトホール

(9:00～17:00、1月中は16:30まで)

「干支に因んだ植物展」

12月18日(金)～1月27日(水)

新年の干支「寅」を中心に干支に因んだ植物を実物や写真、標本などで紹介します。入園料が必要です。

「21年度研究発表展」

1月29日(金)～2月16日(火)

職員が行っている調査・研究の成果をパネルにして展示します。入園料が必要です。

「花と緑のフェスティバル」

2月19日(金)～21日(日)

花と緑のフェスティバル実行委員会と共同で開催する冬季の花と緑の普及に関する祭典です。入園料が必要です。21日は16:30まで。

「第38回蘭まつり大会」

3月5日(金)～3月7日(日)

富山県蘭協会と共同で開催する県内最大のラン展です。会期中はランの即売会や栽培講習会もあります(講習会の詳細は講習会の欄をご覧ください)。入園料が必要です。

「植物画で見るサクラ展—永遠の桜の園」

3月12日(金)～4月下旬まで

友の会植物画部会の協力により、部会員が描いた桜の絵葉書の原画と中央植物園が収蔵する二口善雄画伯のサクラの植物画を展示します。展示作品は新年度に一部入れ替えを行います。入園料が必要です。

■講座・講習会

★21年度研究発表会

1月31日(日) 13:30～16:30

場所／研修室

植物園職員が日ごろ行っている調査・研究の成果をわかりやすく紹介します。当日受付、参加費／無料

★栽培講習会

「ランの植え替えと管理」

① 3月6日(土)

10:30～12:00

② 3月6日(土)

13:30～15:00

③ 3月7日(日)

10:30～12:00

④ 3月7日(日)

13:30～15:00

場所／研修室

講師／富山県蘭協会会員

当日受付、参加費/無料、蘭まつり大会会場へは入園料が必要です。

■月例行事

日曜植物案内

第1、2日曜日 13:30～14:30

集合場所／サンライトホール

参加費／入園料が必要

ガイドボランティアや職員が見頃の植物などを解説します。

◎要申込 事前の申込が必要です。前日までに「電話」でお申込みください。

◆要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から往復はがき・FAX・メール(botanic@bgty.org)で受け付けます。

★印はボランティア養成講座です

友の会会員募集中!

■特典 会員証を示しサインするだけで入園できます。/会報や植物園だよりが送られてきます。/多彩な友の会の行事に参加できます。/印刷物を割引で購入できます。

■会費 年額3,000円。5月以降、新規に加入される方は初年度会費の割引を受けられます。

■入会方法 植物園の入園窓口で随時受け付けています。

富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)
休園日 毎週木曜日、年末年始(12月28日～1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 600円
団体料金(20名以上) 480円
高校生以下無料
冬季入園料(12月～2月)
大人(一般および大学生) 400円
団体料金(20名以上) 320円
高校生以下無料

交通案内 JR富山駅から、富山地鉄バス「ファボーレ経由萩の島循環」または「ファボーレ経田速星行(休日のみ)」に乗り「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分/富山市中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分